



自治行政局地域自立応援課
人材力活性化・連携交流係長

深野 竜太 FUKANO RYOTA

平成25年10月 総務省採用
自治行政局選挙部管理課
平成27年 4月 高知県総務部市町村振興課主事
平成28年 4月 同 政策企画課
平成29年 4月 地方公務員災害補償基金総務課主事
(兼 監事付)
(命 地方公務員災害補償基金情報公開・
個人情報保護審査会書記)
平成31年 4月 総務省自治行政局行政課総務室
令和 元年10月 同 自治行政局行政課総務室人事係長
令和 2年11月 同 自治行政局公務員部福利課管理第一係長
(自治行政局公務員部福利課管理第二係長併任)
令和 4年 4月 同 自治行政局地域自立応援課
人材力活性化・連携交流係長
(自治行政局地域自立応援課
人材力活性化・連携交流室併任)
令和 4年10月 (自治行政局地域政策課
地域力創造事業活用推進室室員)

“地域のため”想いを一つに

地域の自立を応援する

子どもに「パパの仕事は何？」と聞かれたら答えに悩みます。格好つけて「日本を元気にする仕事」なんて言うてしまうかも。でもそれは少し話を盛りすぎですね…。

「地域おこし協力隊」と呼ばれる人々が地域活性化のために全国各地で活動しています(ご存じでなければ、FacebookやYouTube等で関連情報を発信していますので、ぜひ検索してみてください。)

協力隊も「人」ですからそれぞれに想いがあります。皆さんと同じように人間関係や自らの将来について悩むこともあります。協力隊がそれぞれの地域で迷いなく活動できるようにサポートすることが私の仕事です。協力隊の元気が地域の元気、日本の元気となるように私にできることに取り組んでいます。

立場は違っても想いは同じ

「地域おこし協力隊」の実施主体は自治体です。自治体ごとに制度の活用状況は異なりますが、受入自治体の担当職員の方々に共通するのは地域への想いです。その想いにより「地域おこし協力隊」は今や総務省を代表すると言っても過言ではないくらいの制度になりました。

協力隊も然り、受入自治体も然り、それぞれの地域のために頑張る姿に私も刺激をもらっていて、日々、全国各地のいろんな人の顔を思い浮かべながら仕事をしています。

総務省では、自治体からの派遣職員と一緒に働いたり、自ら自治体に出向したりすることでいろいろな方向から地域を見ることが出来ます。

皆さんと、地域のために想いを一つにして一緒に働けることを期待しています。

Private Time

月並みですが、家族の存在が私の支えになっています。特に子どもが楽しく過ごしている姿を見ると前向きな気持ちになります。(冒頭の話に戻ると、)総務省の仕事を一言で説明するのは難しいですが、子どもに誇れる仕事だと思っています。子ども達が元気でいられる社会をつくっていくことも大人である私の大事な仕事です…。



Week Schedule

Monday

お休み：子どもの運動会。リレーで子どもが走る姿を見て感動してしまいました。

Tuesday

関係者との打合せ：総務省が実施する事業の方針等について関係者と打合せを行います。

Wednesday

出張(1日目)：県主催の研修会に参加。総務省の立場から制度等に関して説明します。

Thursday

出張(2日目)：地元の方の案内で協力隊OBが経営するゲストハウス等を視察します。

Friday

資料作成等：来年度の予算要求に向けて課内で検討した内容をもとに資料を作成します。



自治財政局調整課企画係長

喜久里 彩芳 KIKUZATO AYAKA

平成27年 4月 総務省採用
大臣官房秘書課
平成28年 4月 同 自治税務局市町村税課
平成29年 4月 福井県総務部市町村振興課
(選挙管理委員会書記併任)
平成31年 4月 総務省自治税務局企画課
令和 3年 4月 同 自治財政局調整課企画係長
(自治財政局財政課復興特別交付税室室員併任)

「地方のために」を仕事に

国の政策決定の最前線

霞ヶ関には厚生労働省や文部科学省など様々な省庁があり、所管行政について政策の企画立案を行っています。その政策の多くの担い手は地方公共団体であり、地方公共団体の一定の財政負担を伴うものです。私の所属する調整課では、各省庁の政策の検討にあたり、国と地方の役割分担を踏まえ、財政負担の割合が適切か、負担が適切だとして、地方公共団体の負担を軽減するためにどのような地方財政措置を採り得るのかについて、各省庁と調整を行います。

私は主に国土交通省との調整を担当していますが、今まさに世の中で話題となっているトピックが日々課内に飛び交っており、国の施策の最前線としての刺激と緊張感に満ちた職場です。

総務省だからできること

学生時代、職業を通じてどのように社会に関わっていきたく考えたとき、幅広い行政を所管しながらも、根幹にある地方自治という制度を通じて、「地方のために何が出来るか」に向き合うことを仕事にできる総務省に魅力を感じました。

その答え合わせは、例えばこの1年、人口減少や過疎化の進行等により危機的状況にあるローカル鉄道について、持続可能性の高い地域公共交通に再構築していくための新しい制度の検討を行いました。国土交通省が議論を主導するなか、総務省として地方公共団体が前向きに課題へ取り組めるよう、地方財政の立場から制度設計に携わりました。こうした経験から、学生時代の選択は間違っていなかったかなと感じています。

Private Time

休日は、夫と近所を散歩したり、手の込んだ料理を一緒につくったりして、リラックスして過ごしています。また、休日の夜はカクテルづくりを楽しんでいて、レパートリーを増やすべく、日々研究しています。



Q 総務省を志望するようになったきっかけは何ですか？

A 大学入学の年に東日本大震災が発生しました。仮設住宅でのボランティアとして4年間被災地に通う中で、人々の生活を営む土地への思いに触れ、安定した行政サービスを通じて暮らしを守ることの大切さを感じました。そして、日本全国の多種多様な魅力を持った地域と関わることができ、そこで生きる人々の暮らしを支えるために仕事ができる総務省に関心を持ちました。

Q 自治体での赴任経験が総務省の業務に活かした経験はありますか？

A 入省して間もなく2年間福井県に出向しました。福井県では県内市町の決算分析などの業務を担当する他、県内の様々な地域を訪れました。総務省に戻ってからは、地方公共団体への照会一つをとっても、照会を受ける地方の現場が困らないか、趣旨が正確に伝わるかなど、地方の立場になって考える習慣ができました。



自治税務局企画課調査第一係長
山西 幸之助 YAMANISHI KONOSUKE
 平成26年 4月 総務省採用
 自治税務局企画課総務室
 平成27年 4月 同 自治税務局企画課
 平成28年 4月 北海道総合政策部地域主権・行政局市町村課
 (選挙管理委員会併任)
 平成29年10月 総務省消防庁総務課
 平成31年 4月 同 自治税務局固定資産税課
 (自治税務局都道府県税課併任)
 令和 2年 4月 同 自治税務局固定資産税課主査
 令和 3年 4月 同 自治税務局企画課調査第一係長
 (自治税務局企画課課外税制専門官併任)

ふるさとのために

地方税収を読み解く

地方税は、地方団体が行う教育や福祉などの行政サービスを支えており、これらの行政サービスを全国どこでも受けることができるよう、偏在性が小さく税収が安定的な地方税体系を構築し、その充実・確保を図るための施策を考えることが我々に課された使命だと考えています。

この使命を全うするため、どのような施策を行えば効果的なのか考えるにあたって、地方団体の決算をもとに、税収がどのように推移しているか、増減の要因は何かを様々なデータを用いて適切に分析することが求められますが、この分析をしていると意外な出来事が税収に影響を及ぼしていることが分かったりと、日々新たな発見の毎日です。

地方の声とともに

総務省に入ると驚くのは地方自治体から来られている職員の多さではないでしょうか。

実は、総務省の地方自治に関わる部局では、地方自治体の仕事と密接に関連するため、日本全国様々な自治体の職員と一緒に仕事をしています。地方自治体から来られている職員は、その分野の実務を経験されている方が多く、その実務経験を頼りにしつつ、どうしたら上手く制度が機能するかを検討しながら業務を進めることができます。

実務の声をしっかりと反映しつつ業務を進められるのは、総務省の地方自治分野ならではの魅力だと私は思っています。皆さんとも一緒に議論し、新たな制度設計ができる日を楽しみにしています。

Private Time

休日は、美味しいものを食べに行ったり、旅行に行くことが多いです。仕事のことは忘れて、家族と一緒に全力で休日を楽しむのが大切だと思っています。



Week Schedule

Monday

1週間の予定を確認しつつ、週末の局議に向けて資料作りを開始!

Tuesday

関係省庁などとやり取りをしつつ、資料に必要なデータを収集します。

Wednesday

局議資料案を上司と打ち合わせ。指摘を踏まえて資料を修正します。

Thursday

局議を行い、検討課題の処理について幹部の了解を得られました。

Friday

翌週までに終わらせなければいけない業務などを整理し、気持ちよく週末へ!



消防庁国民保護・防災部
 防災課地域防災室
野崎 みのり NOSAKI MINORI
 平成31年 4月 総務省採用
 大臣官房秘書課
 (消防庁総務課併任)~R1.9
 令和 元年10月 同 自治財政局公営企業課
 令和 2年11月 和歌山県総務部総務管理局市町村課
 令和 4年 4月 総務省消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室

地域防災の中核は消防団にあり!

消防団員募集中!

消防庁は、火災の予防や消火、救急、救助など消防行政を行う総務省の外局ですが、私が所属する地域防災室は、消防団や自主防災組織等に関する業務を担当します。消防団員は、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、その地域での経験を活かした消火活動・救助活動を行う非常勤特別職の地方公務員で、消防職員数の約5倍にも相当する地域防災力の要です。しかし、消防団員数は年々減少しており、かつては100万人いた団員数は、令和4年4月1日時点で80万人を切るほど減少してしまいました。団員減少を食い止めるよう、地域防災室では、団員の処遇改善や女性・若者を対象とした広報や入団促進施策等、様々な取組を行っています。



お笑いコンビ「和牛」と打ち合わせ

異動のたびに広がる視野

入省後は、大体2年周期で異動することになりますが、異動を重ねる毎に多面的な視点で地方自治業務について考えられるようになります。私が所属する地域防災室は、事業を沢山持っている部署で出張の機会にも恵まれています。事業や制度の概要は分かっていたつもりでも、現地で事業を自分の目で確かめて初めて気づくことが多く、現場を見ることの大切さを実感しました。和歌山県庁へ出向した際には、県職員、市町村研修生や市町村職員の方との関わり合いの中で都道府県、市町村の立場に立って物事を考える重要性を教わりました。様々な経験を通して成長し、自分の生まれ育った故郷、お世話になった故郷に恩返しができる職場が総務省です。

Private Time

機会を見つけては、出向していた和歌山県に遊びに行きます。出向した県は、第二の故郷のような存在になります。夏は海が綺麗で、冬は温泉やクエ鍋を楽しめる和歌山。アドベンチャーワールドの動物たちはいつ行っても元気に迎えてくれます。人生で1度は行ってみたいですね。

